

事業番号	4	事業名等	共同バス運行事業	
仕分け結果	市が実施(要改善)		担当課	産業政策課

評価(判定)	人数(人)	市民評価委員の主な評価(判定)理由等
廃止	0	
民間が実施	2	・乗客が少なく、市民利用も少ない。民間路線もあるので民間に任せるべき。
国・県・広域行政が実施	1	・なかなか難しい問題と思う。
市が実施(要改善)	14	・やめるわけにはいかないと思う。 ・JRの有効活用が必要。 ・各路線の負担の根拠は、統一したほうが解りやすく、納得しやすい。 ・乗車数の少ない路線はタクシーでも良いのでは。(委託する)
市が実施(現行どおり)	5	・利用者の主が、高齢者や学生なら採算が合わなくても必要ではないか。 ・学生にとっては、大切な交通手段なので継続するべき。 ・必要ではあるが、経営自体は統合を考えていく方向が望ましい。 ・乗り継ぎの運行時間等を調整して、より利便性を高めるべき。
市が実施(拡大・充実)	5	・営業利益を目的とせず、市民や周辺住民のための福祉重視で考えるべき。 ・これからの高齢化社会では、病院や買い物の便として必要である。

市民評価委員の評価(判定)理由が、類似した内容のものについては重複掲載していません。
 評価(判定)項目と理由の内容が合致しない場合も掲載していません。
 また、市民評価委員全員が、評価(判定)理由を付しているとは限りません。

仕分け人の講評
市が実施する事業には公共と公益がある。この共同バス事業は、いろいろな目的で利用されており、公共的色彩が強い事業である。人間の生活の基盤インフラとして過疎のまち、あるいは民間ができない部分は公共が担う部分であり、採算ベースだけで考えるわけにはいかない。できるだけ利用者が利用しやすい運行形態であるよう常に考えておく必要がある。